



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <http://www.aida.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員

管理本部長 (氏名) 増田 健

(TEL) 042-772-5231

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	37,468	9.7	4,233	16.6	5,055	33.6	3,386	23.6
27年3月期第2四半期	34,163	7.2	3,630	16.1	3,784	9.0	2,739	△10.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,863百万円(△57.7%) 27年3月期第2四半期 4,400百万円(7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	54.94	54.78
27年3月期第2四半期	44.59	44.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	105,864	67,186	63.3	1,087.06
27年3月期	105,126	67,254	63.8	1,088.96

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 67,041百万円 27年3月期 67,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	1.4	7,900	0.5	8,700	6.0	6,000	△3.3	97.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	73,647,321株	27年3月期	73,647,321株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	11,974,983株	27年3月期	12,024,268株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	61,646,723株	27年3月期2Q	61,424,074株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(受注の状況)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済については、米州経済が堅調に推移する等先進国は緩やかな回復を辿りましたが、中国や一次産品輸出国を中心に新興国経済が減速しており、全体として緩やかな回復が続いているものの、そのペースは鈍化するとともに下振れリスクも拡大している状況です。国内経済については、円安をはじめ、順調な北米市場や、インバウンド消費等に支えられ企業業績が順調に推移する反面、中国を中心とした新興国経済の減速のあおりで国内企業の収益の伸びは鈍化傾向にあり、先行きの不透明感が強まっている状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内向けの受注が増加しましたが、海外向け受注が減少し、当第2四半期連結累計期間の受注は前年同期比6.7%減の78,245百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループは前連結会計年度よりスタートした中期経営計画(平成27年3月期～平成29年3月期)において、「環境・省エネをモノづくりから支えるグローバル先進企業として深化・追求する」というビジョンのもと、①更なる事業拡大を実現する基盤の構築、②グローバル市場におけるトップブランドの確立、③素形材成形の新技術追求、という3つの重要指針を掲げ、事業基盤の強化と収益拡大に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間においては、人財強化や生産能力向上等、事業基盤強化に努めるとともに、販売面ではグループ各社がグローバルに連携し、海外搬入案件の受注獲得に傾注してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の受注高は、日本や欧州での伸びが寄与し、43,437百万円（前年同期比16.1%増）となり、受注残高は前連結会計年度末の51,934百万円より大幅に増加し57,903百万円（同6.3%減、前連結会計年度末比11.5%増）となりました。売上高は、日本、アジアにおいて自動車関連向けの売上が増加し、前年同期比9.7%増の37,468百万円となり、利益面では、増収効果、原価率改善、円安効果等により営業利益が4,233百万円（同16.6%増）となりました。営業外収益として為替差益を679百万円計上したことにより経常利益は5,055百万円（同33.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,386百万円（同23.6%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の受注高、売上高、各利益とも上半期として過去最高の実績となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

- 日本：自動車関連向け中・大型プレス機に加え、高速精密機や汎用機に至るまで各プレス機の売上が増加し、売上高は22,281百万円（前年同期比5.0%増）となりましたが、人件費や減価償却費等の増加により、セグメント利益は2,216百万円（同9.0%減）となりました。
- アジア：自動車関連向け中・大型プレス機や汎用機の売上増加等により、売上高は11,271百万円（前年同期比36.8%増）となり、セグメント利益は増収効果と原価低減等により1,313百万円（同137.6%増）となりました。
- 米州：自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準の売上減少により、売上高は9,943百万円（前年同期比12.5%減）となりましたが、原価低減等によりセグメント利益は772百万円（同2.3%減）となりました。
- 欧州：自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準売上の減少により、売上高は6,738百万円（前年同期比2.4%減）となり、プレス機の原価率悪化によりセグメント損失は191百万円（前年同期はセグメント利益68百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べて738百万円増加し、105,864百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少3,408百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権の増加2,673百万円、有形固定資産の増加1,935百万円であります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて806百万円増加し、38,678百万円となりました。主な要因は、買掛金・電子記録債務の減少1,507百万円、短期借入金の増加1,511百万円、未払金の増加1,449百万円であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて67百万円減少し、67,186百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加1,436百万円、その他有価証券評価差額金の減少208百万円、為替換算調整勘定の減少1,461百万円であります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は63.3%となりました。

②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比べ3,872百万円減少し、26,085百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により取得した資金は285百万円(前年同期は5,893百万円の収入)となりました。主な要因は、収入として税金等調整前四半期純利益5,054百万円、減価償却費960百万円、支出として売上債権の増加2,921百万円、たな卸資産の増加1,315百万円、法人税等の支払額1,411百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は2,254百万円(前年同期は533百万円の支出)となりました。主な要因は、支出として定期預金の預入れ600百万円、有形及び無形固定資産の取得1,678百万円であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は474百万円(前年同期は1,336百万円の支出)となりました。主な要因は、収入として短期借入金の純増減1,477百万円、支出として配当金の支払額1,943百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における為替差益の増加を反映し、経常利益の予想数値を8,100百万円から8,700百万円に変更しております。経常利益を除く通期業績予想数値は平成27年5月14日の公表値から変更はありません。

なお、当該業績予想の前提となる通期の主要通貨に係る為替レートにつきましては、1米ドル=121円、1ユーロ=135円を想定しております。

上記の予想は、発表日現在において当社及び当社グループが入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,868	19,460
受取手形及び売掛金	22,585	25,312
電子記録債権	242	188
有価証券	7,200	7,200
製品	2,504	3,499
仕掛品	9,318	9,593
原材料及び貯蔵品	2,705	2,687
繰延税金資産	1,434	1,087
その他	5,824	4,766
貸倒引当金	△69	△81
流動資産合計	74,614	73,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,850	21,685
減価償却累計額	△14,161	△14,246
建物及び構築物(純額)	7,688	7,439
機械装置及び運搬具	11,108	13,267
減価償却累計額	△6,807	△7,007
機械装置及び運搬具(純額)	4,300	6,259
土地	5,102	5,084
建設仮勘定	1,524	1,743
その他	2,767	2,784
減価償却累計額	△2,149	△2,141
その他(純額)	617	643
有形固定資産合計	19,233	21,169
無形固定資産	1,121	1,078
投資その他の資産		
投資有価証券	5,804	5,609
保険積立金	3,488	3,343
退職給付に係る資産	519	575
繰延税金資産	162	176
その他	208	301
貸倒引当金	△27	△104
投資その他の資産合計	10,156	9,902
固定資産合計	30,511	32,150
資産合計	105,126	105,864

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,930	8,591
電子記録債務	2,769	2,601
短期借入金	391	1,902
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払金	1,212	2,661
未払法人税等	1,182	1,035
前受金	10,799	10,758
製品保証引当金	1,479	1,212
賞与引当金	1,096	949
役員賞与引当金	58	67
受注損失引当金	80	116
圧縮未決算特別勘定	1,224	1,224
その他	2,604	2,445
流動負債合計	33,328	34,066
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
長期未払金	424	509
繰延税金負債	2,441	2,432
株式給付引当金	200	218
退職給付に係る負債	102	105
その他	373	344
固定負債合計	4,543	4,611
負債合計	37,871	38,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,415	12,416
利益剰余金	44,951	46,387
自己株式	△5,188	△5,166
株主資本合計	60,008	61,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,056	2,847
繰延ヘッジ損益	△211	△47
為替換算調整勘定	3,754	2,292
退職給付に係る調整累計額	496	480
その他の包括利益累計額合計	7,096	5,573
新株予約権	149	145
純資産合計	67,254	67,186
負債純資産合計	105,126	105,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	34,163	37,468
売上原価	26,316	28,475
売上総利益	7,847	8,993
販売費及び一般管理費	4,216	4,759
営業利益	3,630	4,233
営業外収益		
受取利息	46	46
受取配当金	59	79
養老保険満期償還益	28	28
為替差益	21	679
その他	58	40
営業外収益合計	213	875
営業外費用		
支払利息	17	18
その他	41	34
営業外費用合計	59	53
経常利益	3,784	5,055
特別利益		
固定資産売却益	1	3
受取保険金	172	—
特別利益合計	173	3
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	38	2
特別損失合計	38	5
税金等調整前四半期純利益	3,919	5,054
法人税、住民税及び事業税	1,125	1,190
法人税等調整額	55	477
法人税等合計	1,180	1,667
四半期純利益	2,739	3,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,739	3,386

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,739	3,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	250	△208
繰延ヘッジ損益	51	163
為替換算調整勘定	1,361	△1,461
退職給付に係る調整額	△2	△16
その他の包括利益合計	1,661	△1,523
四半期包括利益	4,400	1,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,400	1,863

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,919	5,054
減価償却費	808	960
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23	87
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1	△283
賞与引当金の増減額(△は減少)	△198	△147
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1	8
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△146	32
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△44	△47
株式給付引当金の増減額(△は減少)	20	17
受取利息及び受取配当金	△105	△126
支払利息	17	18
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△0
固定資産除却損	38	2
売上債権の増減額(△は増加)	3,909	△2,921
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,774	△1,315
仕入債務の増減額(△は減少)	90	△893
その他の資産の増減額(△は増加)	527	693
その他の負債の増減額(△は減少)	△288	193
その他	△144	253
小計	6,607	1,586
利息及び配当金の受取額	105	124
利息の支払額	△17	△14
法人税等の支払額	△802	△1,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,893	285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△600
定期預金の払戻による収入	110	98
有価証券の売却による収入	200	—
有形固定資産の取得による支出	△797	△1,599
有形固定資産の売却による収入	3	24
無形固定資産の取得による支出	△51	△78
投資有価証券の取得による支出	—	△100
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△533	△2,254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	277	1,477
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7	△7
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	7	0
配当金の支払額	△1,614	△1,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,336	△474
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,157	△1,429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,180	△3,872
現金及び現金同等物の期首残高	26,038	29,958
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,218	26,085

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	10,373	7,373	11,003	5,411	34,163	—	34,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,856	863	360	1,492	13,573	△13,573	—
計	21,230	8,237	11,364	6,904	47,736	△13,573	34,163
セグメント利益	2,434	552	791	68	3,847	△216	3,630

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	12,457	9,127	9,528	6,355	37,468	—	37,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,823	2,144	415	383	12,767	△12,767	—
計	22,281	11,271	9,943	6,738	50,235	△12,767	37,468
セグメント利益 又は損失(△)	2,216	1,313	772	△191	4,110	122	4,233

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(受注の状況)

当第2四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	16,406	85.2	20,732	12.8
アジア	10,768	△9.7	14,740	1.8
米州	9,829	△23.6	12,184	△35.3
欧州	6,433	71.8	10,246	1.1
合計	43,437	16.1	57,903	△6.3

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。